

事業コード	H28-建-継-03		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	主要地方道 秋田雄和本荘線		担当課長名	菅原 喬
箇所名	秋田市相川(水沢橋)		担当者名	長谷川 一仁
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光、交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H24 ~ H36(13年)	総事業費	40.0億円	国庫補助率	7/10																																																																	
事業規模	○延長L=1,360m(バイパスL=960m、現道改良L=400m)橋梁架替1橋(L=291m)、幅員W=6.5(12.0)m																																																																					
事業の立案に至る背景	<p>秋田雄和本荘線は秋田市と由利本荘市を結ぶ幹線道路であり、旧雄和町内では日常生活を支える道路の役割を担っている。また、接続する雄和岩城線と併せて由利本荘市から秋田空港へのアクセス道路として機能するなど当該線の重要度は高い。しかし、当区間内の水沢橋は歩道がなく歩行者は車道を歩行せざるを得ず危険にさらされている。また、橋の構造から大型車は高さ3.1m以下に制限されており、それ以上の大型車は迂回を余儀なくされているほか、幅員が狭くすれ違いが困難である。</p> <p>このため、安全で円滑な交通の確保を図るため、橋梁を新たに架け替えるとともに、狭隘な現道部のバイパス化を図るものである。</p>																																																																					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○秋田空港へのアクセス性の向上や地域内交流の活性化 ○車両のすれ違い困難箇所の解消 ○安全な歩行空間の確保 ○緊急輸送道路としての機能確保(第二次緊急輸送路) ○老朽橋対策、重交通への対応(TL-14→B活荷重) 																																																																					
事業費内訳	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画時</th> <th>評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>4,000,000</td> <td>4,000,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>3,530,000</td> <td>3,530,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>350,000</td> <td>350,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>120,000</td> <td>120,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 国庫補助</td> <td>2,800,000</td> <td>2,800,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 県債</td> <td>1,080,000</td> <td>1,080,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>120,000</td> <td>120,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						計画時	評価時	増減	理由等	事業費	4,000,000	4,000,000	0		経費					工事費	3,530,000	3,530,000	0		用補費	350,000	350,000	0		その他	120,000	120,000	0		内訳					国庫補助	2,800,000	2,800,000	0		県債	1,080,000	1,080,000	0		その他					財源					一般財源	120,000	120,000	0		事業内容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工		
	計画時	評価時	増減	理由等																																																																		
事業費	4,000,000	4,000,000	0																																																																			
経費																																																																						
工事費	3,530,000	3,530,000	0																																																																			
用補費	350,000	350,000	0																																																																			
その他	120,000	120,000	0																																																																			
内訳																																																																						
国庫補助	2,800,000	2,800,000	0																																																																			
県債	1,080,000	1,080,000	0																																																																			
その他																																																																						
財源																																																																						
一般財源	120,000	120,000	0																																																																			
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工																																																																				
事業の進捗状況	○平成27年度末で事業進捗率6%(用地進捗率は75%)。																																																																					
事業推進上の課題																																																																						
関連する計画等	○道路改良工事(相川工区(H10~H17)、女米木工区(H12~H22))																																																																					
情勢の変化及び長期継続の理由	○国道7号「下浜道路」平成31年度供用予定。																																																																					
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">県道改良率</th> <th>低減指標の有無</th> <th>○有 ●無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="2">整備率(整備済み延長/路線実延長)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td colspan="2">○成果指標 ●業績指標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">73.3%</td> <td>データ等の出典</td> <td>道路課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">74.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">102%</td> <td>把握の時期</td> <td>平成28年 4月</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	県道改良率		低減指標の有無	○有 ●無	指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)				指標の種類	○成果指標 ●業績指標				目標値 a	73.3%		データ等の出典	道路課調べ	実績値 b	74.7%				達成率 b/a	102%		把握の時期	平成28年 4月																																			
指標名	県道改良率		低減指標の有無	○有 ●無																																																																		
指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)																																																																					
指標の種類	○成果指標 ●業績指標																																																																					
目標値 a	73.3%		データ等の出典	道路課調べ																																																																		
実績値 b	74.7%																																																																					
達成率 b/a	102%		把握の時期	平成28年 4月																																																																		

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	○旧雄和町相川、戸米川地区の日常生活を支える道路であるとともに、空港へのアクセス道路としての機能も有しているため交通量が多いが、水沢橋は大型車両同士のすれ違いが困難であり、歩行空間も確保されていない。 ○通学路指定されているが、歩道がなく車道を歩かざるを得ない。	8点
緊 急 性	○水沢橋は昭和35年に架設された設計荷重TL-14、4径間鋼製トラス橋(架設後56年)であり、これまでも補修工を実施してきたが、構造上拡幅が困難であるため大型車の交通需要に対応するには早期の架替が必要である。 ○災害等により、現橋が通行止めになった場合、20km以上迂回する必要がある。(国道341号新波橋)	15点
有 効 性	○第二次緊急輸送路としての機能を確保できる。 ○旧雄和町妙法地区には行政、消防等機関(雄和市民センター、河辺消防署雄和分署等)のほか、災害時の避難箇所となる施設(雄和体育館、雄和中学校等)もある。橋梁架替等により、避難時の安全性が確保されるほか緊急車両等の定時性、速達性も向上する。	30点
効 率 性	○事業の費用便益比は2.1であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 35億円 ・総便益の現在価値 74億円 ○計画交通量 4,700台/日となっている。	18点
熟 度	○平成27年度末の事業進捗率は6%である。	10点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III)	81点
	緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 道路改築事業（地域内・生活圏交通促進）

事業コード （ H28-建-継-03 ）
 箇所名 （ 秋田市相川（水沢橋） ）

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	6	
		・車道幅員<5.5m	2箇所	6		
		・最小半径<100m	1箇所	4		
		・最急勾配>5%	0箇所	0		
		・冬期堆雪巾なし				
		道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7	2	
		・現道の混雑度≥1.0	4件該当	6		
		・現道の旅行速度≤30km/h	3件該当	5		
		・現道の事故率≥50件	2件該当	4		
		・通学路指定で歩道なし	1件該当	2		
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0				
計			15	8		
緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無	あり	10	10	
		・県の主要プロジェクト	あり	0		
		・地域振興プロジェクト				
		・ほ場整備等の他事業				
		緊急度の高い課題の有無	あり	5	5	
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0				
計			15	15		
有効性	道路の位置づけ	生活圏30分形成道路等	該当する	7	7	
			該当しない	0		
		救急医療施設へのアクセス道路	該当する	7	7	
			該当しない	0		
		地域防災計画上重要な道路	該当する	7	7	
			該当しない	0		
		社会変化による事業の必要性	必要性が高い	9	9	
			低下傾向	6		
	必要性が低い	3				
計			30	30		
効率性	事業の投資効果等	費用便益比（B/C）	1.0以上	5	5	
			1.0未満	0		
		計画交通量	5,000台/日以上	5	3	
			1,000台/日以上～5,000台日/未満	3		
			1000台日/未満	0		
		コスト縮減	あり	5	5	
			なし	0		
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5			
	既投資額の部分的損失	4				
	既投資額の損失が少ない	3				
計			20	18		
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗（事業費）	8割以上完了	10	2	
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
		用地買収の進捗（面積）	8割以上完了	10	8	
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
	1割未満	2	0			
	未着手	0				
計			20	10		
合計				100	81	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		